

令和元年度事業報告

1. 航空保安研究センターは、安全かつ効率的な航空交通を実現するための航空保安業務に関する調査研究を行い、その成果を航空保安業務の改善、向上に役立て、航空交通の発展に寄与することを目的としており、この目的を達成するため、次のような事業を行っています。

- (1) 航空交通情報受配信事業
- (2) 飛行コース公開システム関連事業
- (3) 調査研究事業

2. 令和元年度（令和元年5月1日～令和2年4月30日）においては、以下の事業等を行いました。

- (1) 航空交通情報受配信事業
- (2) 飛行コース監視・公開システムの運用等業務（成田国際空港）
- (3) 管制レーダー情報管理等業務（成田国際空港）
- (4) 飛行コース公開システムに係るデータ編集作業（東京国際空港）
- (5) 首都圏空港の滑走路処理能力に関する調査
- (6) 新たな管制運用導入に係る基準策定に関する調査
- (7) ターミナル空域における空域処理能力の算出に関する調査
- (8) 航空情報の品質管理システムに関する調査
- (9) 予測型リスク管理に基づく安全監督に向けた安全情報等の活用に関する要件調査
- (10) 成田国際空港の滑走路処理能力に関する調査
- (11) 福岡空港の滑走路処理能力に関する調査
- (12) 航空安全プログラムの適用に伴う安全情報（自発報告）分析業務
- (13) RAG-ITV 装置に関する整備要件調査支援作業
- (14) 新千歳空港地上運用経路集計・分析支援作業
- (15) 広島空港における地上運用実態調査支援作業
- (16) 宮崎空港の地上運用実態調査支援作業
- (17) 福岡空港の地上運用実態調査支援作業